

農林水産統計をめぐる課題と対応について

平成 1 9 年 3 月 2 7 日
農林水産省大臣官房統計部

目

次

- 1 行政改革に対応した農林水産統計の推進
 - (1) 有識者等からの指摘への対応
 - (2) 農林水産統計調査の見直し方向
 - (3) 農林水産統計の主な役割
- 2 農林水産統計の更なる改革への対応
 - (1) 農政改革推進のための統計整備
 - (2) 統計法の改正と農林統計の対応方向
 - (3) 公共サービス改革法への対応
- 3 広報・情報発信の強化について
 - (1) 分かりやすい情報提供
 - (2) G I S を活用した地域統計データベースの提供
 - (3) 地域別分析・加工データの提供

1 行政改革に対応した農林水産統計の推進

(1) 有識者等からの指摘への対応

農林水産統計組織に対しては、行政減量・効率化有識者会議や経済財政諮問会議等の場において有識者等から厳しい指摘を受けており、これらの指摘に対して適切な対応が求められている。

農林水産統計組織に対する厳しい指摘

職員が直接調査を行っており問題、アウトソーシングすべき

(行政減量・効率化有識者会議)

農林統計 32 本のうち職員が行うものは 19 本であり、他府省には見られない

農林水産業の GDP 比率 (1.1%) に比べ農林水産統計に職員数が偏りすぎ (経済財政諮問会議)

政府全体の統計職員数は約 6,000 人、うち農水省は約 4,400 人 (地方職員は 4,100 人)

【参考】

各省の統計職員数

総務省 …… 約 600 人

厚生労働省 …… 約 350 人

経済産業省 …… 約 350 人

諸外国に比べ農林水産統計職員数は多い

(経済財政諮問会議)

アメリカ農務省の統計職員数は約 1,100 人

うち地方職員 700 人

・調査員の指導

・調査結果の審査

・調査の母集団整備など

(2) 農林水産統計調査の見直し方向

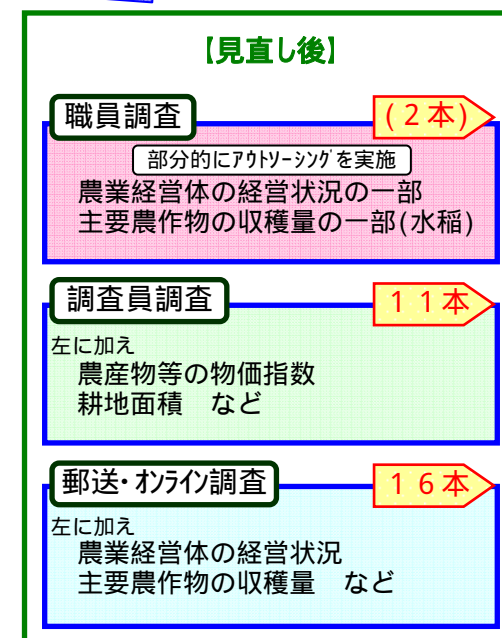
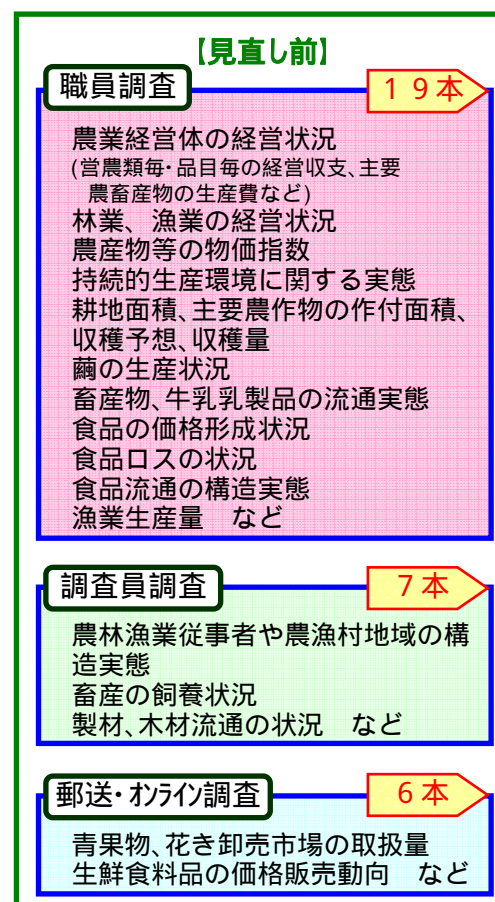
農林水産統計については、農政改革に対応して抜本的な見直しを行い、国の職員による調査を原則廃止し、調査員調査、郵送調査など、アウトソーシングの取組を推進している。

これらのアウトソーシングや調査内容の見直しを推進することにより、「国の行政機関の定員の純減について（平成18年6月閣議決定）」に沿って、農林水産統計分野は、平成22年度までに約1900人の定員を純減することとしている。

アウトソーシングの導入方向

原則として職員調査を廃止し、徹底したアウトソーシングを実施
必要性の低下した調査の廃止・見直し

・調査員化
・調査補助者導入
・郵送・オンライン化
・調査内容見直し
・周期年化



(3) 農林水産統計の主な役割

農林水産統計調査は、農林水産業、関連産業、消費者等を対象に農山漁村地域の実態や生産、流通、加工、消費の実態・動向等を把握し、これを省内関係政策部局をはじめ広く国民に様々な媒体により提供している。

正確な農林水産統計調査の結果は、財政支出や施策の実施、政策の目標値の設定などに活用されており、農政を支える基礎として不可欠となっている。

このため、アウトソーシングを推進するとともに、これらのニーズには的確に対応していく必要がある。

農林水産統計調査結果の利活用

【財政支出】

経営所得安定対策の支援水準
畜産物の行政価格の算定
コメの需給安定対策の発動

【算定データ・発動基準】

経営統計調査
水稻作況調査

【政策目標】

食料・農業・農村基本計画(自給率・経営展等)の策定
各種計画の策定

【目標値策定データ】

各種作物の収穫量調査
経営統計調査

【法令の執行】

天災融資法、激甚災害法の発動

【指標】

農産物被害応急調査

2 農林水産統計の更なる改革への対応

(1) 農政改革推進のための統計整備

農林水産統計については、アウトソーシングを徹底しつつ、農政改革の推進のための統計を整備するために必要な予算はしっかり確保していくことが必要がある。

【統計整備の方向性】

基幹となる統計の内容を見直して確実に実施

必要性の薄れた統計の廃止と農政改革に必要な新規統計の積極的な実施

市場化テストや民間委託を活用した調査の効率化・合理化

国民にわかりやすく、利用しやすい農林水産統計を目指した工夫

平成19年度予算概算決定41億円

農政改革推進のための統計の整備

基幹となる統計の確実な実施

単位：百万円

農業経営統計調査

- ・品目横断的経営安定対策の推進に不可欠なデータ 609(626)
- ・行政価格の算定に不可欠なデータ など

集落営農に関する調査

3(9)

- ・集落営農の組織数、経営内容、今後の経営の展開方法等のデータ

生産統計調査(水稻作況調査)

99(48)

- ・生産調整や集荷円滑化対策の実施に不可欠なデータ
- ・地球温暖化の水稻平年収量への影響に関する検討会

「攻め」の農政をサポートする新規調査等の実施

東アジア食品産業活性化戦略の実現に資する食品産業に関する新しい統計調査

53(0)

基本計画の見直しを見据えた基礎数値の調査(拡充)等

97(60)

農林水産統計の業務改革

民間委託、ITの活用等による統計業務の効率化

経営管理ソフトを活用した郵送調査化促進対策 4(0)

アウトソーシングに伴う調査精度の低下を防止する対策 20(0)

職員に代わる統計調査員の確保・育成対策(拡充) 100(98)

統計の正確性・信頼性の確保を前提として、牛乳乳製品統計調査などについて市場化テストを実施(20年度)

国民にわかりやすく、利用しやすい農林水産統計を目指した工夫

農林水産統計の利活用の向上を図るため、ホームページの使いやすさの改善、公表・プレスリリース資料を刷新

(2) 統計法の改正と農林統計の対応方向

【統計法改正(案)のポイント】

【対応方向】

従来は各府省が独自に実施してきた統計調査を政府全体で体系的に整備

- 調査の体系を政府全体の**基本計画(5年毎)**として策定し、この中で「**基幹統計**」と「**一般統計**」に区分

政府の統計調査

- ・指定統計：55本(うち農水7本)
- ・承認・届出統計：281本(うち農水23本)

サービス統計等の充実が課題

- 総務省にある統計審議会を廃止し、**内閣府に統計委員会**を設置

現在は各府省の申請に基づいて調査内容を審議

開かれた統計をめざし、従来行政機関に限られていたデータの二次利用を民間開放

- 民間等による利用の拡大

学術研究等のための、

- ・依頼に応じたオーダーメイド集計
- ・個人情報を除いた調査票情報の貸出

アウトソーシング推進のための秘密の保護

- 統計調査の受託者に対しても、秘密漏洩及び盗用に対する罰則規定を措置

現在は契約上の誓約書のみ

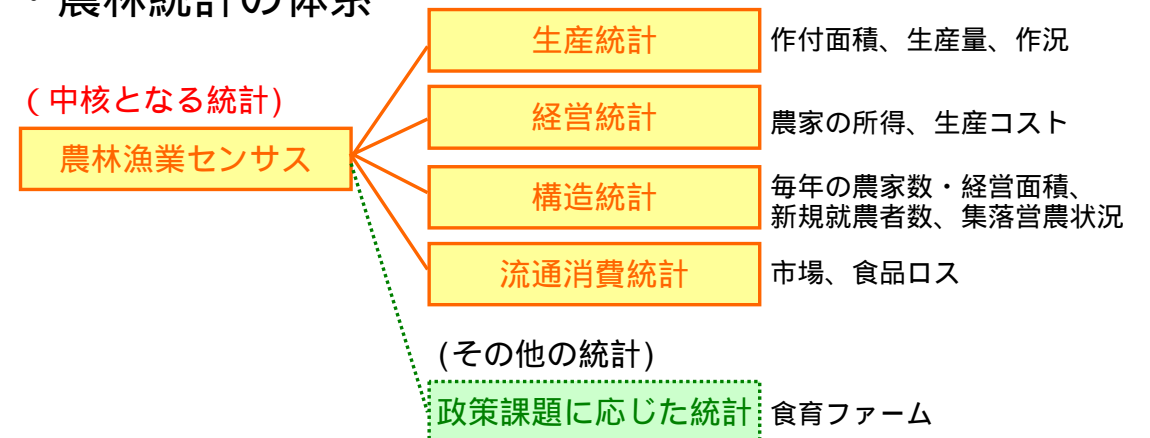
農林統計は、アウトソーシングに取り組んでいるが、今回の統計法改正を契機に農林統計の体系を再構築

- 従来は調査の廃止は少なかったが、今後は思い切ったスクラップ・アンド・ビルド

最近廃止した調査：繭生産統計調査(H17廃止)
野菜・果樹予想収穫量調査(H17廃止)

- 農林統計の体系

(主なデータ)



農林統計も広報・情報発信を更に強化、同時に職員の意識も改革

- ホームページやプレスリリースをより分かりやすく工夫

G I S (地理情報システム)を組み合わせた地域統計データの提供
ホームページのキーワード検索

アウトソーシングの一環として市場化テスト

- 平成20年度から牛乳乳製品統計、生鮮食料品価格・販売動向調査などで市場化テストを推進

(3) 公共サービス改革法への対応

公共サービス改革基本方針（18年12月閣議決定）等に基づき、各府省の統計調査については、市場化テスト・民間開放に向けた速やかな取組が求められている。

農林水産統計については、公務員総人件費改革の目標を達成するため、徹底したアウトソーシングを講じることとしており、その一つ的手段として平成20年度から市場化テストの活用を図ることとしている。

【参考】

公共サービス改革基本方針の別表(抜粋)

1. 統計調査関連業務

(3)統計調査の民間開放に向けた措置等

農林水産省は、公務員総人件費改革の取組の一環としても民間開放を進めることとし、生乳乳製品統計調査(指定統計調査)生鮮食料品価格・販売動向調査(承認統計調査)等について平成20年度から法の対象業務とする方向で検討を行う。

(課題)

受託可能な民間事業者の確保

統計調査結果の質の確保のための措置

公共サービス改革法の概要

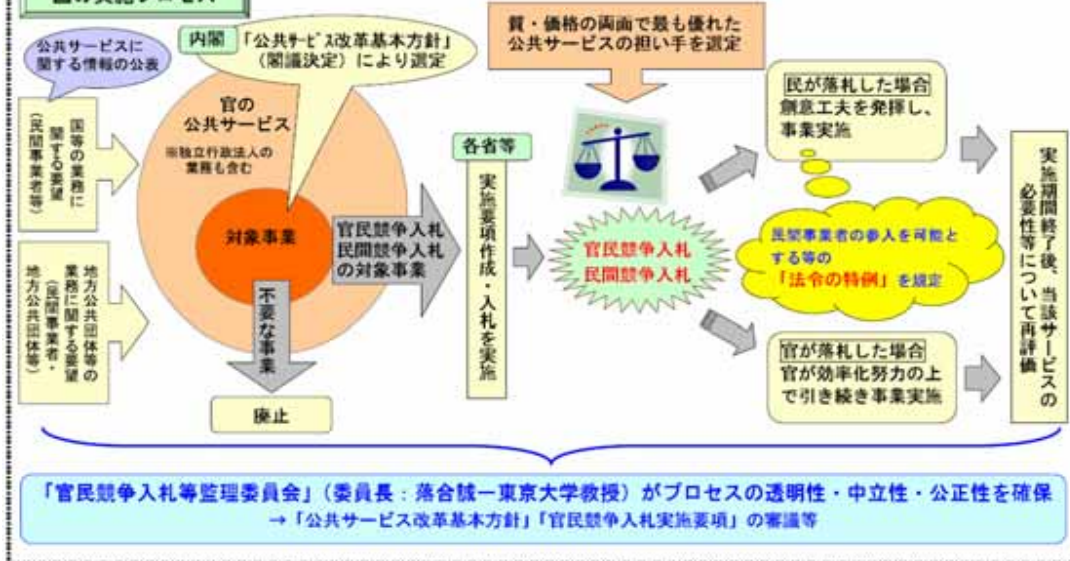
法律の趣旨・理念

「簡素で効率的な政府」を実現する観点から

- 「民間にできることは民間に」という構造改革を具体化
- 公共サービスによる利益を享受する**国民の立場に立って**、公共サービスの**不断の見直し**を行い、「競争の導入による公共サービスの改革」を推進
- 具体的には、**官民競争入札・民間競争入札**を活用し、公共サービスの実施について、民間事業者の**創意工夫**を適切に反映させることにより、国民のため、**より良質かつ低廉な公共サービスを実現**（他方で、不要な公共サービスは**廃止**する）

法律の概要

国の実施プロセス



3 広報・情報発信の強化について

(1) 分かりやすい情報提供

ホームページにキーワード検索機能を付加するなどして国民誰もが自宅などにいながらにして必要なデータを入手できるよう改良するとともに、調査結果をプレスリリースする際に併せて関連情報を提供するなど分かりやすい情報提供に取り組んでいる。

「農林水産省ホームページ」のキーワード検索



「農林水産省ホームページ」画面(統計関係)



農林水産省ホームページアドレス

<http://www.tdb.maff.go.jp/toukei/a02stopframeset>

(2) GISを活用した地域統計データベースの提供

地図情報と農林業センサス等の統計データを重ね合わせて表示・検索できるシステム(GIS)を開発し、農業集落などの一定のエリア毎の各種データの表示や地域分布図の作成などが農林水産省のホームページ上で簡単に行える機能を充実する。(19年度から運用開始予定)

農林業センサス・地域データベースのイメージ

農林業センサス結果と他の統計データの一体的利用

農林業センサス結果と作物統計調査等の他統計の調査結果を合わせた一体的な地域情報を提供

農林業センサス結果
・農家数、農家人口、農業就業人口、農家率
漁業センサス結果
・漁業経営体数、漁業就業者数
作物統計調査結果
・耕地面積
国勢調査結果
・総世帯数、総人口

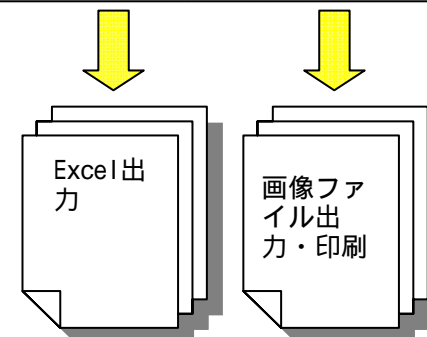
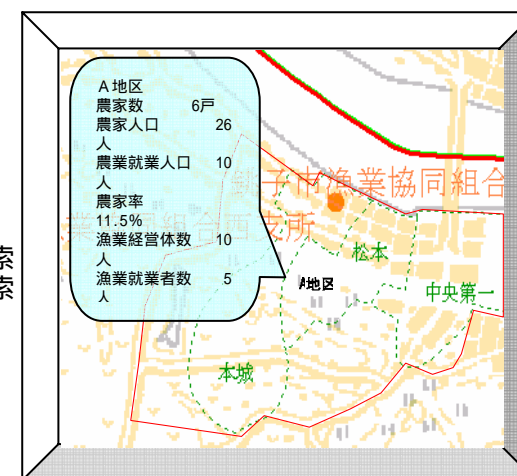
地図等による任意の地域検索 キーワード等による項目検索

地域検索
地図上検索
地域名一覧検索
キーワード検索
データ条件検索

データ検索
データ一覧検索
キーワード検索

多層レイヤーによる複数地図、統計データの表示

複数の地図情報、各種統計データを重ね合わせることによる農山漁村地域の複合的な把握



(3) 地域別分析・加工データの提供

農林水産統計データと他省庁の各種統計データを組み合わせて、都道府県・市町村ごとの農林水産業の状況についての指標データをグラフを交えて分かりやすく提供している『わがマチ・わがムラ - 市町村の姿 - 』について、利用者が統計データを自由に検索・加工できる機能を充実する。(19年度から運用開始予定)

「農林水産省ホームページ」のわがマチ・わがムラ



農林水産省ホームページアドレス

<http://www.toukei.maff.go.jp/shityoson/index.html>